

ほけんだより

こんかい りんじごう
今回は、臨時号です。

かっごうほけんいんかい おこな 学校保健委員会を行いました！

～ しんがた かんせんしょう ただ りかい 新型コロナウイルス感染症を正しく理解しよう ～



2月10日（水）に、第2回 学校保健委員会を行いました。
今回は、新型コロナウイルス感染拡大状況をうけて、児童と職員
のみの実施となりましたが、新型コロナウイルス感染症について
学ぶ大切な機会なので、全学年がそれぞれの教室で参加しました。

～ ほけんいんかい はっぴょう 保健委員会の発表より ～

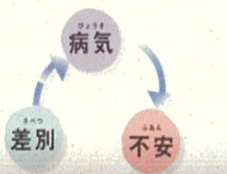
アンケート結果の
発表をしました。こち
らは、5・6年生の
結果です。

お医者さんに聞いてみたいことは？
コロナの感染症対策でお医者さんが特に
気をつけていることはあるか
人から人にうつるまでには、どれくらいか
無症状の人がコロナにかかって、感染対策して
出歩いてもコロナは広まるか



ほけんいんかい ねんせい
保健委員会の5年生が、「せ
かいがかぜをひいたから」の絵本
を心をこめて読みました。

目に見えないウイルスに対する「おそれ」から、「病気」
「不安」「差別」という3つの感染症を広げてしまう。この繰
り返しを断ち切るために何ができるかを考えました。

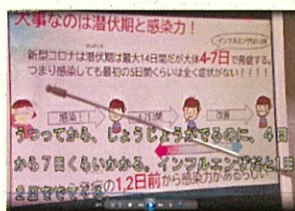


考えてみよう

3つの 感染の繰り返しを
断ち切るために
できることは、何だろう？

会の進行役の二人です。ハキハキと
上手に話すことができ、とても聞き取りやす
かったです。

かとう ～ 加藤クリニックの加藤先生のお話 ～



コロナにかかった場合、発症する(具合が悪くなる)前から人にうつすと言われています。

<子どもたちの質問をうけて>

- ・ 加藤クリニックでは、かぜ症状のある人は別室の風通しのよい部屋で診させていただいています。
- ・ ワクチンは打ったからといって誰にでも効くわけではありませんが、効果のでる割合は、インフルエンザのワクチンと同じくらい(7～8割)です。全体でみると感染力が低くなります。
- ・ 今後、ワクチン接種も地域で受けることができるようになると思います。

みんなをたいせつにすることがわかった。コロナになった人をたいせつにしたい。じぶんをたいせつにしたい。(1年 女子)

かとうクリニックのかとう先生のおかげでしんがたコロナウイルスがよく分かりました。(2年 男子)

がっこうやす学校を休んでいるこは、コロナにかかっていないのに、かかっているとうわさばなしができてしまうのは、目に見えないウイルスで不安になるからだとし知りました。(3年 女子)

コロナウイルスのせいで、差別がうまれてしまうということに気づきました。コロナにかかってしまった人たちに、冷たくするのではなく、あたたく見守りたいと思いました。また、コロナと戦っているお医者さんの方たちに、きちんと感謝の気持ちを忘れずに、今、自分たちにできることをしていきたいです。(6年 女子)

もし、ともだちがコロナにかかったら、ぼくはだいじょうぶって言いたいです。(2年 男子)

今でも、コロナと戦ってくれている、おいしやさんやかんごしさんなどの人にすごく感しゃしています。差別をされたがわの人の気持ちが分かりました。もし、コロナにかんせんした人がいても、差別せずに守ってあげたりなぐさめてあげたりしてやさしくしてあげたいと思いました。(4年 男子)

かんどうしました。コロナは、きえるものではない。インフルエンザものこったまま。加藤先生の話のとき、絵本のお話は、今、一番大変なのをつたえたい気持ちがいっぱい伝わってきました。コロナにかからないように、3つ、手洗い・うがい・マスクを鼻までして、ソーシャルディスタンスを守っていきたいです。(5年 女子)

ほかにもすてきな感想がたくさんありました。ありがとう！

- ・ 司会の児童の話し方がとても聞きやすかった。
- ・ 保健委員の児童が上手に発表ができていて感心しました。
- ・ 自分だけのためだけではなく、みんなのために感染予防をしっかりと、差別をしないで人に優しくしようという意識が高まり、とても有意義な取組でした。

教職員感想

こどもたちの感想